

## 「この上ない布石」



「修学旅行でどこに行くの」と訊かれ、「日本コース」と答える。その次には決まって「わざわざ修学旅行で」「いつでも行ける」と言われたものだ。自分もまさに出発当日まで外国を選んだ方が良かったか、などと考えていたが、結果的にはとても満足いく修学旅行だった。

自分は小さい頃から、外国に憧れていた。1年のときの修学旅行コース紹介でも、写真から伝わってくる雰囲気や香りに目を輝かせたものだ。それでもあえて日本コースを選んだ。自分は大阪だけで日本を知った気になっているのでは、と思ったからだ。そして異国とも思える地に立ち、大阪のそれとはまた

違った寒さを、熱さを、人々を、言葉を、景色を、喧騒を、食べ物を、「日本」を見て、聞いて、感じた。この旅行を通して、「やっぱり自分は日本をまだまだ知らないな」と出発前に予想していた答えを得た。感想文には書き表せないような思い出を、たくさん持って帰ってきた。これだけでも満足だ。

当然、「外国に行ってみよう」という気持ちは変わっていない。しかし、それは大人になってから。それまでに、この日本を堪能したいと思う。

もちろん、将来外国へ行って、「日本だけで世界を知った気でいた」とその魅力に気づけるようになればそれでいい。むしろ、そうなるような素敵な海外旅行ができれば、と思う。

